

中高生応援する食事とアート

カネ
アンド
ギャラリー
Café and Gallery 鐘や

代表 八嶋 敏江さん（野苺）

起業されたきっかけは

人形劇や平和の会などサークル活動を永く続けているなか、12年ぐらいい前に学習支援館が開かれました。そこに通う子どもたちが、待ち時間にパンなど簡素な食事で空腹を



料理の準備をする鐘やのスタッフ



老舗旅館の趣を残した店内

我慢して頑張っている姿をみて「応援できたらいいな」と思っていました。

そんなとき塩屋旅館をされていた家が空くと聞き、サークル活動の場にと見学したときに、これは何としても残さなければという思いが強まり、まるで塩屋の神様に導かれたように、ここを継ぐことにしました。と同時に、一番やりたかった中高生食堂が頭を巡り、地域の子どもたちを応援したいという思いをカタチにしようと頑張りました。

先日は二人の生徒が来店し「お陰で合格できました」とお礼を言ってくれました。本当

に嬉しかったです。今後も、友達と話をしたり、気持ちをしつめてもらえる場所として使ってもらえると嬉しいです。

ギャラリーは息子の提案で、田舎でも現在活躍されている方々の作品に気軽に触れて欲しいと思い、ガラス戸越しに見えるオープンギャラリーにしています。ギャラリートークもしており、作家の考えや制作時の思いを直接聞けるので参考になります。ここに展示するために描いて下さる絵もあります。

「鐘や市」を賑わいづくりに開いています。本屋、花屋、パン屋、珈琲屋さんなどを町外から招いて、町内の野菜も出品します。普段会えない人や考えにふれることで文化交流になると思っています。家族は毎回復夜で準備するので大変ですが、喜んで貰えるならと（笑）。小手先のことで感動がないので気持ちを投入して取り組んでいます。

これまでに振り返って

無我夢中でした。いや本当に大変でしたけど、多くの方

の力を借りてやっとここまできたという感じですね。抱えている課題も多いです。でも続けて行きます。

鐘やの明日は

町内の小中高生を対象に絵画コンクールを計画しています。優秀作品はギャラリーに展示します。副賞として食事券何十回分という感じで取り組みたいと思います。

月に一度位は子ども食堂もやりたい。小学生とか保育所の子どもと保護者が一緒に、無料で低額で食事を楽しめる場所になればと思っています。



町の広告塔が映える三日市の旧道に面した店舗

募集

「明日を拓く」で取り上げてほしい会社や個人、団体、行事やイベントなどの情報をお寄せください。取材に伺います。議会報の表紙に使う写真の募集もあわせて行います。自薦他薦は問いません。皆様からのご応募をお待ちしています。

《応募先》飯南町議会事務局 0854-76-2190

今月の
表紙写真



静かな三日市の旧道からは町の歓迎サインが鮮やかに映えていました。お店に入ると、予約客のためか八嶋さんとスタッフ3名が慌ただしく仕込みに追われていました。改装された店舗は、老舗旅館の魅力を残しながらもお洒落なカフェに変身していました。素敵なBGMに包まれて美味しいランチとこだわりのコーヒーをいただくと、非日常の空間に身を置いたような錯覚を感じました。お店を出るときには名残惜しささえあった「鐘や」さんでした。